

# 保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

10/10

## アカデミック英語 No.3

### 英語面接・口頭試問で論じる —— 30秒で構造化された答えを返す

★ 清光学院の講師は、大学教員として何十年もの間、実際の入試答案・口頭試問を採点し合否判定を行ってきた当事者です。英語面接で「えーと……I think that…」と始まる答えと、結論→理由→例→結論の構造で30秒で答えた受験生の評価の差を、試験官として繰り返し目にしてきました。

#### 1. この講座が有効な入試問題のタイプ

##### ① 英語面接・口頭試問での意見表明

東京大学・慶應義塾大学医学部・東京科学大学・順天堂大学医学部の推薦・総合型選抜では英語面接が課される。「What do you think about AI in medicine?」という問いに、結論→理由→例の構造で30秒以内に答えられる受験生は試験官（大学教員）に「英語で論理的に考えられる」と評価される。

##### ② 英語即興スピーチ・プレゼン

「30秒でこのトピックについて英語で話してください」という課題は、グローバル人材育成を掲げる医学部・理工系大学の推薦入試で増加傾向にある。構造化された英語発話の習慣を持つ受験生は、内容の質が他の受験生と明確に異なる。

##### ③ 英語ディスカッション・グループ面接

グループ英語ディスカッションは、国際的医学部入試で採用されている。自分の意見を構造化して短時間で発話できる受験生は、グループ内で存在感を発揮する。

#### 2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	英語面接・意見表明問題	結論→理由→例の構造が試験官（大学教員）に際立つ
東京科学大学	英語プレゼン・即興スピーチ	30秒で構造化された発話が評価を高める
順天堂大学・関西医科大学 医学部	英語グループ面接・ディスカッション	構造化された発話がグループ内での存在感に直結する
理工系・医学部推薦・総合型選抜（全般）	英語での意見表明・口頭試問	採点者（大学教員）が求める「論理的英語発話」を実現する

#### 3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

英語面接で「流暢さ」だけを重視して練習している受験生は、構造のない答えで採点者に印象を残せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）英語面接で「結論→理由→例→結論」の構造で30秒以内に答えられる、（2）即興スピーチで論理的な構成が自然に出てくる、（3）英語での口頭試問で「論理的に考えられる受験生」として評価される、という変化が起きる。

何十年も英語面接・口頭試問を採点してきた清光学院の講師陣は、「内容のある構造化された英語発話」と「流暢なだけの答え」の評価の差を試験官として知っている。その実感が、この講座の根拠である。